

## 人が生きる環境の創造

自主評価の凡例 ☑=目標達成 ☹=一部未達 ☹=未達

重要課題（重要課題は★）	KPI	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	中長期目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★モノ・コトづくりの クオリティの追求  ★イノベーションの推進と 新しい価値の創出 7 8 9 12	中期経営計画2025 参照 2023年5月10日 開示 中期経営計画2025 説明資料 <a href="https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/">https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業の成長を支え多様な働き方に応えるソリューションの提供</li> <li>●小売業が抱える社会問題の解決とみらいの店づくりの研究・開発</li> <li>●スマート物流に貢献する製品・サービスの開発</li> <li>●産業車両向けの環境対応型製品の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業成長を支える経営課題解決型需要が売上利益に寄与</li> <li>●みせいくラボを中心に店づくりの研究開発が進展 ☹</li> <li>●スマート物流に貢献する製品・サービスの開発は事業化の前段階まで進展 ☹</li> </ul>	2023年度目標継続	顧客・社会への新たな価値提供による「人が生きる社会の実現」							7.a	8.2 8.5	9.4 9.5			12.5 12.8					
★安全な製品・サービスの提供 9 12	重大製品事故発生件数 *重大製品事故の定義：当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	1件 ☹	0件	—									9.4 9.5			12.4					

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

## 地球環境への取り組み

自主評価の凡例 ☺=目標達成 ☹=一部未達 ☹=未達

重要課題（重要課題は★）	KPI	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	中長期目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★ <b>サーキュラーエコノミーの推進</b> 3 6 7 9 12 13 14 15 17	省資源・廃棄物削減による資源循環の推進	生産系廃棄物等排出量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	原単位前年度比 <b>2.3%</b> 低減 ☺	生産系廃棄物等排出量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	2030年度生産系廃棄物の2020年度比 <b>9%</b> の排出量原単位低減			3.9			6.3	7.3 7.a		9.4			12.2 12.4 12.5 12.7	13.1	14.1	15.1 15.2 15.3 15.4 15.5		17.16 17.17
	製品開発における環境配慮型企画と設計推進	環境配慮販売製品の管理指標の設定と実態把握	管理指標を設定し月次で進捗状況を把握 ☹	環境配慮開発製品の管理指標の設定と実態把握	—																	
★ <b>持続可能な自然資源の利用と保全</b> 6 12 13 14 15 17	森林資源の持続可能な利用の推進	木材利用方針に基づいた合法性の再確認	FSC維持審査で軽微な不適合 <b>1件</b> ☹	合法木材確認フローの構築	—						6.3 6.4 6.6						12.2 12.5	13.1	14.1	15.1 15.2 15.3 15.4 15.5		17.16 17.17
	環境影響度の低減	水資源使用量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	原単位前年度比 <b>8.4%</b> 低減 ☺	水資源使用量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	2030年度 <b>10%</b> の水資源使用量削減（2020年度比）																	
★ <b>気候変動問題への貢献とカーボンニュートラルの実現</b> 7 9 13 15 17	地球温暖化防止対策の推進 ● 温室効果ガス排出量低減 ● 燃料系エネルギー使用量低減	グループ全体でスコープ1+2排出量2020年度比 <b>20%</b> 削減 ● 工業用燃料使用量5年度平均1.0%低減 ● 車両用燃料使用量5年度平均5.0%低減	CO <sub>2</sub> 排出量2020年度比 <b>30.8%</b> 削減で推移 ● 工業用燃料使用量5年度平均1.1%低減 ☺ ● 車両用燃料使用量5年度平均15.3%低減	グループ全体でスコープ1+2排出量2020年度比 <b>36%</b> 削減 ● 工業用燃料使用量5年度平均1.0%低減 ● 車両用燃料使用量5年度平均5.0%低減	2030年度温室効果ガス排出量 <b>50%</b> 削減（2020年度比）、2050年カーボンニュートラルを目指す																	
	エネルギー生産性向上	省エネ法対応によるエネルギーの効率利用 ● 生産系エネルギー消費原単位社内完成高あたり前年度比 <b>1.1%</b> 低減 ● 事務所系エネルギー消費原単位 総人員あたりのエネルギー消費原単位維持	● 生産系エネルギー消費原単位前年度比 <b>4.0%</b> 低減 ● 事務所系エネルギー消費原単位前年度比 <b>2.1%</b> 低減 ☺	省エネ法対応によるエネルギーの効率利用 ● 生産系エネルギー消費原単位社内完成高あたり前年度比 <b>1.1%</b> 低減 ● 事務所系エネルギー消費原単位 総人員あたりのエネルギー消費原単位維持	2030年度エネルギー生産性向上 <b>10%</b> （2020年度比）							7.2 7.3 7.a		9.4				13.1		15.1 15.2		17.16 17.17
<b>ものづくりでの環境保全活動</b> 3 6 9 11 12 14 15	環境影響度の低減	PRTR排出・移動量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	原単位前年度比 <b>24.9%</b> 低減 ☺	PRTR排出・移動量社内完成高あたり前年度比 <b>1.0%</b> の原単位低減	2030年度 <b>10%</b> のPRTR排出・移動量原単位削減（2020年度比）			3.9			6.3 6.4			9.4			11.6 12.4		14.1	15.1 15.2		
<b>環境汚染の防止</b> 3 6 11 12 14 15	汚染予防・有害化学物質対策	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止、水銀含有廃棄物の適正処理、フロン関連設備の点検実施と漏えい量管理	法令違反なし ☺	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止、水銀含有廃棄物の適正処理、フロン関連設備の点検実施と漏えい量管理	環境法令の遵守と情報収集			3.9			6.3 6.4						11.6 12.4		14.1	15.1		

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

従業員の働きがいの追求\*

自主評価の凡例 ☺=目標達成 ☹=一部未達 ☹☹=未達

重要課題(重要課題は★)	KPI	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	中長期目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
★ Work in Life (ワークインライフ)の推進 3 8	従業員満足・エンゲージメントの向上	●エンゲージメントスコア向上 ●重点改善項目の設定	●エンゲージメントスコア「Bレーティング」達成 ●重点改善項目の設定、改善施策の実施 ☹☹	●エンゲージメントスコア向上 ●重点改善項目の設定 ●改善施策の実施 ●Dレーティング組織の改善	2025年度までに「Bレーティング」達成			3.d					8.5										
★ DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進 5 8 10	女性従業員比率	23%	22.7% ☹☹	23%	—																		
	女性管理職比率	7%	7.3% ☹☹	7.5%	—																		
	新卒女性採用比率(大卒)	40~50%	41.9% ☹☹	達成済みのため、2025年度より目標管理せず	—						5.1 5.4 5.5			8.5		10.2 10.3							
	男性育休取得率	65%	69.2% ☹☹	70%	—																		
	(男性育休+配偶者出産休暇)取得率	100%	101.9% ☹☹	100%	—																		
障がい者雇用率	2.58%	2.32% (2025年6月1日時点) ☹☹	2.5%	2025年度 2.7%																			
★ キャリア形成支援と専門人材育成の強化 4 8	育成面談実施率	100%	97% ☹☹	100%	—																		
	強みにつながる専門職への各種施策の実施	各事業本部の戦略に沿った専門人材育成のプログラム企画運営	●DXラーニングプラットフォームの実施 ●施工管理技士の講習実施 ●デザイン思考習得のためのオカムラシンキングの開催 ●必要資格の抽出 ☹☹	継続して各事業本部の戦略に沿った専門人材の育成プログラムの企画運営					4.3 4.4 4.5 4.7 4.a				8.5										
	オカムラ ユニバーシティ受講アンケート「今後のキャリアに活かせる」	受講者の95%が今後のキャリアに活かせると回答	受講者の92.2%が今後のキャリアに活かせると回答 ☹☹	受講者の95%が今後のキャリアに活かせると回答																			
健康と安全に配慮した職場づくり 3 8	年次有給休暇平均取得率	80%	71.2% ☹☹	80%	—																		
	一般定期健康診断受診率	100%	100% ☹☹	100%	100%																		
	ストレスチェック受検率	100%	99.8% ☹☹	100%	100%			3.4 3.5 3.8 3.a 3.d						8.5									
	喫煙率	25%	25.9% ☹☹	24%	2025年度前年度より-1%																		
	「積極的支援」[動機づけ支援]の対象者比率(40歳以上の健診受診者)	—	各7.3%、4.8% ☹☹	各8.5%、5%	2025年度各8%以下、5%以下																		
チームワークによる業務の遂行 8 17	話し合い*実施率	100%	84.6% ☹☹		—								8.5										17.16

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています  
 ※対象範囲：オカムラ単体  
 \*話し合い：職場課題や環境の改善のための全社取り組み

## 責任ある企業活動

自主評価の凡例 🟢=目標達成 🟡=一部未達 🟠=未達

重要課題（重要課題は★）	KPI	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	中長期目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
★ 公正・透明・誠実な行動 5 8 10 16 17	サステナブル調達調査実施率	取引金額ベースで70%	取引金額ベースで70%以上達成 調査対象639社回収率98.9% 🟢	取引金額ベースで70%以上達成	—																			
	サステナブル調達実地監査実施率	ハイリスクサプライヤーに対して100%	ハイリスクサプライヤーに対して100% 実地監査5社 🟢	ハイリスクサプライヤーに対して100%	—																			
	人権教育（社内）の実施と充実、サステナブル調達との相乗効果	購買関連部門へ教育実施	継続実施 🟡	購買関連部門へ教育継続	—					5.1 5.2				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.5 16.7	17.16	
	入社時および新任役職者向けコンプライアンス教育実施率	100%	100% 🟢	100%	—																			
	コンプライアンス研修の充実	コンプライアンス研修の充実	● 全社コンプライアンス研修（4回/年）実施 ● その他課題別研修の実施 🟡	● 全社コンプライアンス研修（3回/年）実施 ● その他課題別研修の実施	—																			
★ リスクマネジメントの強化 10 11 16	BCP（災害）構築	● 災害対応マニュアルの見直し ● BCP（災害）構築	● BCPに合わせる形で災害対応マニュアルの見直しを継続中 ● BCP（災害）構築完了、2025年度から運用予定 🟡	● 災害対応マニュアルの見直し ● BCPの広報・周知	—										10.3	11.b						16.3		
★ 適正な情報開示とステークホルダーとの対話 16 17	ステークホルダーとの対話継続と取り組みへの反映	ESG関連各外部有識者とのステークホルダーダイアログ実施	継続実施 🟡	● ESG関連各外部有識者とのステークホルダーダイアログ実施 ● 投資家との創造的対話	—																	16.7 16.10	17.16	
地域社会との共生 17	戦略的社会的貢献活動の定着	従業員参画型社会貢献の継続	● 従業員参画型社会貢献活動実施 ● オカムラグループ社会貢献活動アーカイブ発行 🟡	従業員参画型社会貢献の継続	—																		17.16 17.17	
コーポレート・ガバナンス 5 8 10 16	取締役会の多様性、独立性、客観性の充実によるガバナンス強化	● 独立社外取締役100%の維持 ● 女性取締役比率25%以上	● 独立社外取締役100%の維持達成 ● 女性取締役比率25%達成 🟢	● 独立社外取締役100%の維持 ● 女性取締役比率25%以上	—								8.5		10.2							16.7		

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています